

の説明会を開き、そのたびに内容が異なるようでは、成熟した行政のあり方といえるのか。

答 公民連携は、官と民の対立概念ではなく、お互いに助け合い、市民のために最良のサービスを効率的に行おうとするもので、行政を切り売りするものではありません。加西市の厳しい財政状況から、従来どおりの行政のやり方では限界があるために一つの手法として公民連携の導入を検討しています。職員・市民・議員に対しても適宜説明しており、ホームページでも詳しくすべての情報を開示しています。

関係なく、目の前の通勤、通学する道が、安全・安心であることが大切。歩行者や自転車を通して照らすLEDの設置や、青色防犯灯の設置をお願いしたい。

答

県の社会基盤整備プログラムの中に、和泉町地域で自転車歩行車道の設置事業として、全長700m、幅3.5mを片側で計画され、平成22年度に日吉小学校沿い延長約190mの拡幅工事を実施、平成25年度に完了を目指しています。全体計画は、県も持っています。具体的なスケジュールは未定です。意気込みを聞かせていただきたかったので、県、関係機関へ要望したいと思えます。市道鴨谷別所線については、平成21年5月に特定交通安全施設等整備のための道路の指定を受け、今後補助事業として実施する条件の一つが整いましたが、厳しい財政事情の中、財源の確保は困難です。今後実施できる安全対策を行い、事故の防止に努めます。平成22年9月には西在田地区から県道拡幅および交通安全施設の整備の要望書を県へ提出されたと聞いており、機会あるごとに整備要望したいと考えています。

県の社会基盤整備プログラムの中に、和泉町地域で自転車歩行車道の設置事業として、全長700m、幅3.5mを片側で計画され、平成22年度に日吉小学校沿い延長約190mの拡幅工事を実施、平成25年度に完了を目指しています。全体計画は、県も持っています。具体的なスケジュールは未定です。意気込みを聞かせていただきたかったので、県、関係機関へ要望したいと思えます。市道鴨谷別所線については、平成21年5月に特定交通安全施設等整備のための道路の指定を受け、今後補助事業として実施する条件の一つが整いましたが、厳しい財政事情の中、財源の確保は困難です。今後実施できる安全対策を行い、事故の防止に努めます。平成22年9月には西在田地区から県道拡幅および交通安全施設の整備の要望書を県へ提出されたと聞いており、機会あるごとに整備要望したいと

住宅リフォーム助成について



井上芳弘 議員 (日本共産党)

問 長期の不況の中で、仕事を失っていき、そして地域に雇用や所得が生まれ、所得が地域で消費され、地域を潤していく。それが自治体の財政的に潤っていくという循環型の施策を講じるべきだと思つた。近隣では明石市、福崎町でも、住宅リフォーム助成を行っているが、検討する考えは。

答 明石市の産業活性化緊急支援事業で、住宅リフォームの助成があります。内容は、助成金額が対象となる工事経費の10%、最高10万円です。住宅のリフォームに関しては、目的別にさまざまな助成事業がありますので、それらの利用を啓発することが必要と考えており、新しい補助制度の創設については、もう少し検討が必要と思つ

ています。ただ、住宅のリフォームは、建築主と地域の中小企業、工務店の結びつきの中で、建築主については、きめ細やかな対応や安心感が期待できるところ、建設業者については、受注機会の増大による雇用と地域経済の活性化につながることは確かなことだと考えています。

北条町及び中野町の道路及び水害問題について



西川正一 議員 (正睦会)

問 都市計画税が一番高い北条町12区の水害、排水等の緊急整備が行われていない。また、道路においても救急車が通れない道路があるが、その対応は。140町近い自治会に中川市長が足を運び、確認し、区長から要望を受けたことはあるのか。

中野町においても、雨水が鷺野飛行場から国道に流れてくるが、大雨が降れば大変危険な状態になる。どのように対応しているのか。

答 北条町12区の水害については、近年地球温暖化の影響により、ゲリラ豪雨が大変多く、被害が増加しています。一時期に大量の雨が降る関係で、側溝や排水路が雨水を処理できなくなり、河川が増水して床下浸水等の被害を受けている状況です。雨水対策は、生活環境部が下水道事業で従来から行っており、今後検討したいと考えています。市道の舗装補修や側溝整備、擁壁設置等、区長を窓口として寄せられる道路修繕要望に対し、予算が毎年減少しており、未施工件数が増加している現状です。担当者は現地をすべて確認していますが、市長は道路修繕工事等の実施段階で(担当が)説明を行い、必要に応じて現地を確認し、緊急性等を考慮して実施しています。

中野町の国道へ流れる排水問題については、以前国道より西側からの排水が集中し、国道の下が抜けにくいいため、氾濫したと聞いています。その箇所は、非常に排水系統が入り組んでおり、現地での十分な調査を行い、関係機関と協議したいと考えています。

安全安心な街づくりについて



丸岡弘満 議員 (東風会)

問 県道下滝野市川線の拡幅工事の進捗状況と、今後の予定は。県道大和北条停車場(369号線)と、市道鴨谷別所線において死亡事故が発生しているが、具体的な対策は。市民にとれば国道、県道、市道は

関係なく、目の前の通勤、通学する道が、安全・安心であることが大切。歩行者や自転車を通して照らすLEDの設置や、青色防犯灯の設置をお願いしたい。